

平成25年6月 ※ごみ出しのルール：①正しい袋に ②正しく分別 ③当日に、朝8時30分まで							
地区名 ごみ区分	越川 斎大平	河川 白小倉	大鷹沢 田中	福岡 小原	市街東北本線 東側	鷹巣	市街東北本線 西側
収集曜日	火	月	金	木	金	月	水
ペットボトル (第1曜日)	4日	3日	7日	6日	7日	3日	5日
びん類 (第2・第5曜日)	11日	10日	14日	13日	14日	10日	12日
缶 (第3・第5曜日)	18日	17日	21日	20日	21日	17日	19日
その他のプラスチック (第3曜日)	18日	17日	21日	20日	21日	17日	19日
もやせないごみ (第4曜日)	25日	24日	28日	27日	28日	24日	26日
紙類・容器包装 プラスチック	4・11・18・25	3・10・17・24	7・14・21・28	6・13・20・27	7・14・21・28	3・10・17・24	5・12・19・26
もやせるごみ	火・金 4・7・11・14・18 21・25・28	月・木 3・6・10・13・17・20・24・27	月・水・木 3・5・6・10・12・13・17 19・20・24・26・27	火・水・金 4・5・7・11・12 14・18・19・21 25・26・28			

平成25年7月 ※農業資材・農薬のピンは収集できません。販売店または専門業者にご相談ください。							
地区名 ごみ区分	越川 斎大平	河川 白小倉	大鷹沢 田中	福岡 小原	市街東北本線 東側	鷹巣	市街東北本線 西側
収集曜日	火	月	金	木	金	月	水
ペットボトル (第1曜日)	2日	1日	5日	4日	5日	1日	3日
びん類 (第2・第5曜日)	9日 30日	8日 29日	12日	11日	12日	8日 29日	10日 31日
缶 (第3・第5曜日)	16日 30日	15日 29日	19日	18日	19日	15日 29日	17日 31日
その他のプラスチック (第3曜日)	16日	15日	19日	18日	19日	15日	17日
もやせないごみ (第4曜日)	23日	22日	26日	25日	26日	22日	24日
紙類・容器包装 プラスチック	2・9・16・23 30	1・8・15・22 29	5・12・19・26	4・11・18・25	5・12・19・26	1・8・15・22 29	3・10・17・24 31
もやせるごみ	火・金 2・5・9・12・16 19・23・26・30	月・木 1・4・8・11・15・18・22・25・29	月・水・木 1・3・4・8・10・11・15・17 18・22・24・25・29・31	火・水・金 2・3・5・9・10・12 16・17・19・23 24・26・30・31			

※不忘・川原子地区のもやせるごみは、毎週水曜日に収集します。

○平成25年4月からは収集曜日が固定され、祝日も回収します。
 ○ごみは、必ず当日の午前8時30分までに収集所に出してください。
 ○資源ゴミ「衣類」(綿50%以上)の収集は、紙類の収集日(毎週1回)に行います。
 ○「もやせるごみ」と「もやせないごみ」の袋は、中身がどちらかわかるよう袋の表に印を付けて出してください。
 ◎ごみの分け方などの詳細は、「ごみの分け方と出し方 平成23年度～」をご覧ください。

※ごみ収集日カレンダーは、目立つところに張ってご利用ください。 ☎生活環境課 ☎22-1314

市民文芸

歌壇 岩崎 聰之介 選

朝食の膳にうれしよ路味噌が粥にのりて来か
 おり立てつつが踊草にお早うさん淡き日さし
 いぬふぐりが踊草にお早うさん淡き日さし
 に揺れて咲けるも 菅野ちさよ
 細仕事春のひと日を終へし人の鎌洗ふ背に老
 梅の散る 後藤今朝雄
 ゆるゆると注ぐ日差しがゆきわたり杜の都は
 花の色帯ぶ 斎藤 典子
 面寄せて語り合うともみな白髪日毎楽しき施
 設のくらし 山田 濱
 通院のめをといたはりあふ姿二人の来し方滲
 みうるはし 鈴木久美子
 きこちない手つきで淹れたる夫のお茶怪我を
 悔いつつありがたく飲む 佐藤 啓子
 梅がたき一夜の雨に花ばなは命を葆ち春を
 告げ居る 佐藤喜和子
 静かなる蘇峰が愛でし碧玉の谷埋めたる山吹
 の花 別当内信夫
 久々に夢に逢う亡妻微笑みて弱りゆく身の迷
 い消え去る 荒木喜代子

俳壇

山家 弘子 選

並び立つ円空仏やあたたかき 別当内信夫
 長閑さに昨日の愁い失せにけり 制野 リエ
 満ち足りし吐息もらして花巡り 斎藤 典子
 どぶろくの壺を抱へし花見客 岩澤 伍峯
 残雪や歌人を偲ぶ青根の湯 菅野ちさよ
 春の土手座してほかほか温もれる 遠藤 忠臣

柳壇

四電 英夫 選

何気ない言葉の轆がひとを刺す 草野 清
 アベノミクススムード作りの合言葉 斎藤 典子
 お隣の国は何やら不気味です 高子うみん
 平成の地球あちこちきな臭い 佐藤 啓子
 海洋国四方八方波高し 阿部はぎの
 希望持ち夢の若人入社式 村上 照夫
 花粉黄砂マスク美人が増えてゆく 寺崎 悦子
 あの世から五十年後を覗きたい 阿部みさ子
 年輪に縮む背丈の逆らえず 末吉アツ子
 已年でもなかなか当たらぬ宝くじ 佐久間とみ子

【評】一句目、無意識に発した言葉が相手を傷つけることもある。そして、一旦口を出した言葉は引くことが出来ない。自戒の句。
 二句目、バブル期の再来を思わせる円安・ドル高・株価高。所得も上がるが物価も上げると言う。アベノミスにならぬよう願いたい。
 三句目、近隣国の動向が気になる。「隣は何をする人ぞ」で済むうちはいいが、物騒な行動は願ひ下げ。世界の平和を祈りたい。

「年輪」

風間市長の風のささやき
 てなしの心」で、笑顔でお出迎えしましょう。

5月3日(5日の3日間、昭和34年に天皇陛下(当時皇太子)のご成婚を記念し、また地場産業の振興対策の一環として開催された「全日本こけしコンクール」が、ほほえみの年輪を重ねて55回目を迎えることができました。これも偏にこけし愛好者の皆さんや工人の皆さんをはじめ、多くの関係者の皆さんの絶大な支援と協力の賜物であると心から深く感謝申し上げます。みちのくの湯治場に生まれ、子どもよき遊び相手として伝統の中に育まれてきたこけしは、多様化する社会の中で東北固有の伝統こけしと、新鋭創作こけしなどに分類され全国的な広がりを持つ産業へと発展してまいりました。これは素朴さと清新さを合わせ持つ「こけし」が、日々繁忙をきわめる現代人の郷愁を呼び起こし、心のやすらぎを与えてくれるものとして、広く愛され、親しまれるようになってきたためであり、今後ますますその価値を高めていくものと思われまます。

今回の大会では、毎年好評の「伝統こけし工人による実演」に、内閣総理大臣賞を受賞されました阿保六知秀さんにも花を添えていただきました。同時開催の「地場産品まつり」はもちろんのこと、55回記念として「5.5cmのミニこけし55本組」を1セットにして10セットを限定販売したところ、人気を集めました。

また、伊達政宗公を主人公としたスベシヤル時代劇「臥竜の天」の特別上映会や片倉小十郎公役の榎木孝明さんによるトークショーを5月4日に開



▲甲冑を身にまといパレードに参加する風間市長。白石市民春まつりはこけしコンクール同様、多くの人たちで賑わった